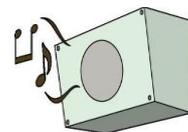




## ◆一人一人が大きく成長する2学期にしていこう！～ 8/24 第2学期始業式にて

8月24日（月）に第2学期の始業式がありました。はじめに、夏休み中に事故の知らせが一つもなかったこと、古枝小学校に子ども達の明るい声と笑顔が戻ってきたことなど、先生方を代表して嬉しい気持ちを伝えました。そして子ども達に、2学期に向けて、一人一人が成長するために大切なことについて、次のような話をしました。



### < 2学期に向けて >

さて、今日から2学期が始まりました。2学期は、1年間の中でも最も長く、勉強に運動にじっくりと取り組める学期です。運動会をはじめ、体験学習、学習発表会など、たくさんの行事もあり、それらを通して、皆さんが最も大きく成長できる学期でもあります。今、皆さんは、「さあ2学期だ、頑張ろう！」と思って、ここに座っていると思います。まずは、今までの家庭生活のリズムを、学校生活を送るリズムに戻して、心を新たに、2学期の自分の目標、これから何に力を入れるかを考えて、よいスタートを切ってほしいと思います。

では、2学期のスタートに当たり、漢字の問題を1つ出したいと思います。「耳」、「目」、「心」を「+」たすと、何という漢字になるでしょうか。1～3年生には、難しい問題かなと思います。4～6年生の皆さんは、わかるでしょうか。

これは、「聴く」（きく）という漢字になります。でも「きく」という漢字は、他にもありますよね。皆さんがよく知っているのは「聞く」という漢字ですね。この漢字は、小学校で最初に習う「きく」という漢字です。ところで、この2つの「きく」という漢字には、どのような違いがあるのでしょうか。



まずは、「聞く」という漢字です。この「聞く」は、聞こうとする気がなくても自然と耳に入ってくるものです。例えば、夏になると、一段と蝉の声が大きくなりますよね。みなさんは、蝉の声を聞こうと神経を集中して聞いていますか？そういうわけではないですよね。蝉の声は、自然と耳に入ってくるものです。では、「聴く」はどうでしょうか？この「聴く」は、聞こう、理解しようと、自分の気持ちを集中させて聞くものです。つまり、聞こうという気持ちを持って集中して聞く、という意味です。

2学期にあたり、校長先生は、皆さんに、この「聴く」ことを是非とも身に付けてほしいと思います。耳だけでなく、「目」と「心」も合せて聴いてほしいのです。「相手を見て」（目）、わかろうとする気持ち、つまり「心」で聞くということです。2学期は、この「聴く」という場面がたくさんあります。

まずは、授業中です。当たり前ですよね。耳だけで聞いたことはすぐに忘れませんが、心で聞いたことはなかなか忘れないものです。成績を上げるためにもまずは、耳や目だけではなく、心でも「聴く」ことです。そして、2学期は多くの行事があります。まずは「運動会」、5年生の「宿泊訓練」や「稲刈り・脱穀などの米作り体験」、秋には「修学旅行」、そして「学習発表会」…、いろいろな場面で先生や友達の話聴く機会がたくさんあります。ぜひ、この「聴く」ということを練習し、身に付ける努力をしましょう。皆さん達を必ず、たくましく、立派に成長させてくれるはずです。

最後に、皆さん一人一人を大切に、皆さんが持っている力を輝かせるために、先生達は、皆さんに3つの約束をします。



- 1つ、先生達は、一生懸命に頑張る人を全力で応援します。
- 2つ、先生達は、頑張る仲間の足を引っ張る人には、みんなで指導します。
- 3つ、先生達は、相談されたら、その日のうちに行動します。



2学期も、皆さん一人一人の頑張りや、周りの人を大切に合わせる「優しさ」と「思いやり」が溢れる古枝小学校にしていきましょう。そして、皆さん一人一人が大きく成長する2学期にしていましょう。

## ◆鹿島市ラムサール条約推進室による環境教育プログラムの取組について

4年生は毎年、総合的な学習の時間を使って、環境学習に積極的に取り組んでいます。その中の学習の一つに、鹿島市ラムサール条約推進室が主催する環境教育プログラムによる体験学習があります。子ども達は、この学習を通して、環境に対する理解をさらに深め、ふるさと鹿島の豊かな自然環境を守っていくことの大切さを実感していました。裏面に紹介します。



### ① 水質検査（6月2日 火曜日）

4年生は、この日の5時間目に、鹿島市ラムサール条約推進室の方を講師にお招きし、理科室で、古枝地区の河川水質検査を体験しました。

まずは、ペットボトルの検査容器に浜川の水を入れます。そして、検査容器の底にある“#”の印がはっきりと見えるまで、水を少しずつ抜いていきます。抜いた水の量が少ないほど、きれいな水であることがわかります。この検査を通して、浜川の水がとてもきれいであるとわかり、子ども達はとても嬉しそうでした。また、試験薬を使った検査もしました。子ども達は、この検査でも、浜川の水がとてもきれいだと再確認し、古枝の豊かな自然を実感していました。



【ペットボトルの水質検査】



【試験薬による水質検査】

### ② 干潟の浄化実験（6月30日 火曜日）

4年生は、この日の5時間目に理科室で、鹿島市ラムサール条約推進室の方を講師にお招きし、「干潟の働きを知ろう！」というテーマで、干潟の浄化実験を体験しました。

まずは、干潟の泥を入れたろ紙と何も入っていないろ紙に、汚れた水を流し込み、ろ紙を通った汚れた水がどうなるのかを見ていきます。すると、干潟の泥を通った汚れた水は、透明なきれいな水になってビーカーに入っていました。次に干潟の中に生息する二枚貝（岩牡蠣）を入れたビーカーに汚れた水を入れます。すると、時間が経つにつれて、水の濁りが消え、透明な水になっていきました。子ども達は、これらの実験を通して、干潟の力を知ることができました。



【干潟の泥の浄化実験】



【二枚貝の浄化実験】

### ③ 干潟体験（7月22日 水曜日）

7月はじめに予定していた干潟体験でしたが、長雨が続けてなかなか実施されず、この日ようやく梅雨の晴れ間となり開催することができました。4年生は、やっと干潟体験ができるとあって朝からわくわく、ドキドキが止まらず、興奮気味でした。本年度は、水泳の授業も中止になっていたのも、子ども達がとっても楽しみにしていたのがよくわかりました。

干潮の時間に合わせて、13時15分に学校を出発。七浦海浜スポーツ公園（道の駅鹿島）へ向かいました。まずは、干潟に住む生き物探しに取り組みました。佐賀大学の藤井先生から、採取した干潟の生き物について説明がありました。子ども達は今日の学習であらためて、これらの貴重な干潟の生き物達を守っていかなければならないという気持ちを持ちました。干潟の生き物探しの後は、フリータイムです。子ども達は大はしゃぎです。子ども達は、ムツゴロウになった気分です。子ども達は満喫しました。子ども達にとって、この日はとても楽しい思い出の一日となりました。



【干潟の生き物探し】



【干潟でのフリータイム】

### ④ リサイクル学習（9月4日 金曜日）

4年生は、この日の2、3時間目に、鹿島市ラムサール条約推進室の協力の下、佐賀県環境サポーターの下田代さんをお招きして、段ボールコンポスト作りと、堆肥作りに取り組みました。

まず子ども達は、下田代さんの指導の下、7つの班に分かれて、段ボールコンポストを作りました。次に、ビニールシートの上に、落ち葉を載せ、米ぬかを振りまき、それらを丹念に混ぜ合わせて堆肥の素になるものを作りました。それらを段ボールコンポストの中に入れて作業は終了しました。これから、子ども達は毎日、家庭の生ゴミを少しずつ持ち寄って、段ボールコンポストの中に継ぎ足しながら堆肥を作っていきます。1ヶ月後には、立派な堆肥のでき上がりです。



【段ボールコンポスト作り】



【堆肥の素作り】